

登下校中に大きな地震が起きた場合の対応について

愛知県立岡崎商業高等学校

R. 6. 9. 1

○地震の揺れを感じたら

① 周囲の状況を十分に確認して、「落ちやすいもの」「倒れやすいもの」「移動しやすいもの」から離れてしゃがむ。

② バッグなどで頭を守る。

・屋根瓦、外壁、ガラス、看板の落下に注意するとともに、ブロック塀、電柱、電線、自動販売機からできるだけ離れる。崖山崩れ、堤防決壊、液状化現象などにも注意が必要で、崩れそうな場所や水のそばからできるだけ離れる。

・自転車に乗っていたらすぐに降りる。

・橋や歩道橋の上にいる時は、動けるのなら早く渡りきる。

・バス・電車に乗っている時は、棚から荷物が落ちてこないか確認する。

座っている時は、手すりや座席にしっかりつかまる。

立っている時は、手すりなどにつかまるか、つかまれない時はしゃがむ。

※大規模な災害時は「むやみに移動を開始しないこと」が重要です。最寄りの安全な場所へ移動したら、まずは混乱が収まるまで待機しましょう。「遠くの自宅より近くで待機」です。

○地震の揺れがおさまったら

・崖や山崩れのおそれのある場所、河川、海岸からできるだけ離れる。高台に避難する。

・徒歩や自転車を使用している場合は、最寄りの避難場所に行く。

避難所

(避難場所)	
--------	--

- ・公共交通機関利用者は、乗務員の指示・誘導に従う。
- ・避難後、登校するか、帰宅するか、その場で待機するかは、状況を判断して安全な行動を選ぶ。

「南海トラフ地震に関する情報（臨時）」が発表された際の授業等の取扱いについて

- ・原則として授業等の教育活動については、継続します。
- ・本情報が発表された時は、地震への備えを再確認してください。
- ・本情報の運用開始（平成29年11月1日）に伴い、東海地震のみに着目した情報（東海地震に関連する情報）の発表は行われません。

愛知県 防災情報 <https://www.pref.aichi.jp/site/aichinokikikanri/>



気象庁 防災情報 <https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>

